

平成29年 7月 6日

長野県知事 様

## 平成29年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	平成29年度から平成31年度	
会社名	野村建設株式会社	
住所	〒399-3702 長野県上伊那郡飯島町飯島107	
代表者名	野村 肇 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">印</span>	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	専務取締役	
担当者名	松原久雄	
連絡先	TEL	0265-86-2010
	FAX	0265-86-2047
	電子メールアドレス	matsubara@nomura-con.co.jp
ホームページアドレス	http://www.nomura-con.co.jp	

## 1 産業廃棄物3R実践方針

美しい信州の自然や環境を守るために、我々は下記のような取り組みを行い廃棄物減量化に取り組む。①各現場毎に減量目標を定め、達成状況を確認する。②各現場毎の減量化目標達成率を比較し優秀な現場については社内表彰を行い、社員の意識向上を図る。③社員、作業員に対して意識向上の為の研修会を実施する。④ホームページを積極的に活用し情報開示を行う。

## 2 基礎数値の把握

(1) 総排出量の推移 (t) kg 又は m<sup>3</sup> ※採用した単位に○

平成28年度	平成27年度	平成26年度
689	682	802

(2) リサイクル量の推移 (t) kg 又は m<sup>3</sup> ※採用した単位に○

平成28年度	平成27年度	平成25年度
689	682	802

(3) 売上高の推移 (円)

平成28年度	平成27年度	平成26年度
498,657,000	428,345,000	479,111,000

(4) 廃棄物処理 (リサイクルするものは除く) に要する費用の推移 (円)

平成28年度	平成27年度	平成26年度
348,500	312,800	378,000

※排出抑制に基づく費用軽減の取組みの成果を経年でみます。

(5) リサイクルに要する費用の推移 (円)

平成28年度	平成27年度	平成26年度
3,552,000	3,067,800	3,882,700

3 取組み目標及び過年度実績

※目標値の指標の設定は、協定期間中同じ考え方の指標を継続して使用してください。  
 ※協定期間の年度ごとに記載してください。新規の協定締結者は、初年度分のみ記載してください。

(1) 排出抑制のための目標値及び過年度実績値

① 総排出量に関する目標値及び過年度実績値

(総排出量と売上高との相関により、減量化の成果 (傾向) を見ます。)

ア 総排出量 (t) kg 又は m<sup>3</sup> ※採用した単位に○) / 売上高 (円)

平成29年度 (当年度目標値)	平成28年度 (過年度目標値)	平成27年度 (過年度目標値)
0.00000140	0.00000140	0.00000140

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

平成28年度	対前年比	平成27年度	対前年比	平成26年度
0.00000138	▲13.2%	0.00000159	▲4.8%	0.00000167

ウ ア以外の指標による目標設定※

平成 年度 (当年度目標値)	平成 年度 (過年度目標値)	平成 年度 (過年度目標値)

※排出抑制目標値については、総排出量 / 売上高を基本としていますが、これにより難しい場合や自社で決めている場合は、独自に定める指標により作成してください。その場合、指標の算出方法や考え方について下記に記載してください。また、業務内容別に目標設定を行うことも可能なので、自社の状況に応じて設定してください。その場合、適宜記載欄を追加したり、別添様式 (任意) で記載するなどしてください。

独自に指標を定める場合の算出方法・考え方

--	--

エ ウの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

平成 年度	対前年比	平成 年度	対前年比	平成 年度

②廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用に関する目標値及び過年度実績値

（売上高に占める廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用の割合を見ます。）

ア 廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用（円）／売上高（円）×100（％）

平成29年度(当年度目標値)	平成28年度（過年度目標値）	平成27年度(過年度目標値)
0.065%	0.070%	0.070%

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

平成28年度	対前年比	平成27年度	対前年比	平成26年度
0.070%	▲4.1%	0.073%	▲7.6%	0.079%

③リサイクルに要する費用に関する目標値及び過年度実績値

（売上高に占めるリサイクルに要する費用の割合を見ます。）

ア リサイクルに要する費用（円）／売上高（円）×100（％）

平成29年度(当年度目標値)	平成28年度(過年度目標値)	平成27年度(過年度目標値)
0.65%	0.65%	0.65%

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

平成28年度	対前年比	平成27年度	対前年比	平成26年度
0.712%	▲0.6%	0.716%	▲11.6%	0.810%

(2) リサイクル率目標値 (%)

※リサイクル率は現地確認等で最終的なリサイクルを確認できる数字で記載してください。

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	平成29年度 目標値	平成28年度 実績値	平成27年度 実績値	平成26年度 実績値
コンクリート殻	100	100	100	100
アスコン殻	100	100	100	100
木 材	95	95	95	95
全 体	98	98	98	97

(3) リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量 (%)

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	平成29年度 目標値	平成28年度 実績値	平成27年度 実績値	平成26年度 実績値
再生クラッシュラン	100	100	100	100
再生アスファルト合材	100	100	100	100
全 体	100	100	100	100

3 産業廃棄物処理責任者等

職	氏 名	職務内容
専務取締役	松原 久雄	産業廃棄物についての総括管理責任者
常務取締役	今堀 雷三	現場の産業廃棄物についての管理責任者

\*必要に応じ管理体制組織図等を添付してください。

4 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開

現場毎に掲示板を設置し、産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理方法を記入し、付近住民に情報公開を行う。  
また、当社のホームページにも「環境への取組み」と題したコーナーを設け当社の廃棄物減量化への取組みなどを紹介する。

5 産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合のみ）

施設の名称	公開計画の有無	公開計画の概要又は公開計画無しの理由
	有・無	
	有・無	

6 処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画

区分	廃棄物の種類	現地確認計画
中間処理場	コンクリート殻、 アスコン殻	年2回 処理状況を確認する。
最終処分場		

7 従業員教育（研修）計画

項目	教育（研修）計画内容
社員教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物減量化の必要性について</li> <li>・ 減量化事例の紹介</li> </ul>

8 リサイクル促進に向けた取組み（計画段階、実施段階での工夫など）

計画段階においては使用資材について、同等品でリサイクル製品がある場合には発注者と協議してリサイクル製品を使うよう働きかける。  
現場での分別を徹底させると共に、計画的な発注を行うことにより、見込み発注などによる残材廃棄物の発生を無くす。

9 処理を委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底

委託処理した廃棄物が不適正処理されたことが判明した場合は直ちに関係機関に連絡すると共に状況把握を行い、原因究明のための協力体制をとる。不適正処理された廃棄物の撤去や最終処分については、原因者に強く要請するが排出事業者責任として、適切に対処する。

10 他の不適正処理を発見した場合の協力体制

・他の不適正処理に対しても、日頃注意を払うよう社員へ喚起し、不適正と認められる現場を発見した場合は、関係機関へ情報提供を行う。

1 1 自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合のみ）

1 2 その他協定の目的達成のため、独自に取り組む事項

※環境認証制度等の取得※、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。

ホームページを積極的に活用し、当社の廃棄物減量化に対する取り組みを紹介すると共に、地元住民の意見も聴取し随時体制の見直しを行う。

\*環境ISO 14001、エコアクション21等